



嘉手納基地を飛び立つ B52 機

「オール沖縄」のたたかいの源流を描いた

う ち な あ う む

沖縄ぬ思い

長 編
ドキュメンタリー

1 時間 3 8 分

企画・製作：製作委員会代表・上地完道 副代表・島田耕 監督：田野多榮一
協力：沖縄県統一連



主催：関西普及委員会
共催：安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

5・12

映画上映会

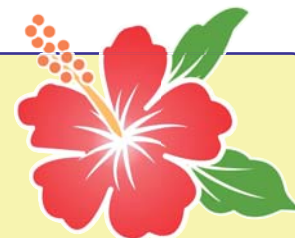
日時：5月12日(木) 18:30～

場所：大阪ドームセンター

視聴覚スタジオ(5F)

《アクセス》・京阪・地下鉄谷町線
「天満橋駅」より東へ300m

参加費：1,000 円



沖縄県民は米軍基地の押しつけにどうあらがってきたのか？

翁長知事を先頭にした「オール沖縄」の闘いの源流はなにか？

答えはすべて沖縄の歴史の中にあります。今回、沖縄に残された貴重な記録映画も交え、いまにつながる沖縄の歴史を知ることができる長編ドキュメンタリー映画「沖縄ぬ思い」が製作されました。大阪ではじめての上映会です。ぜひご覧ください。

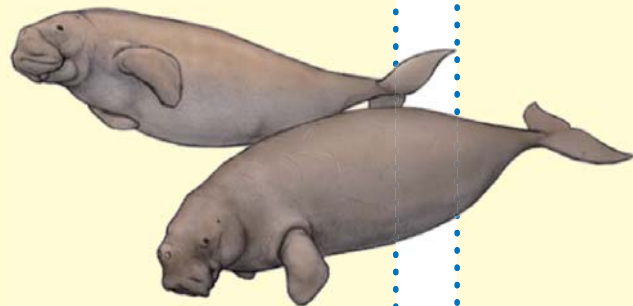
《連絡先》吉沢 弘 携帯090-3053-7426
安保破棄大阪実行委員会

☎ 06-6763-3833

長編ドキュメンタリー「沖縄ぬ思い」を観て

4月25日に大阪グリーン会館で試写会を開催しました。そこで寄せられた感想を紹介します。

- ・「沖縄ぬ思い」というタイトル通り戦中、戦後の沖縄の歴史や置かれてきた状況がよくわかった。
- ・老人も子供もみんな参加のたたかいが素晴らしい。
- ・ニュースでは流れない市民運動が見られて良かった。
- ・マスメディアは辺野古の一部分を切り取ってしか写さない。こんなドキュメンタリーの普及が必要だ
- ・身の震えるドキュメンタリー映画でした。皆に見てもらいたいと思います。
- ・沖縄のあつい思いが胸を打ちました。戦争に続き基地で自分たちの土地が戦場にされる。ずっと闘いの連続ですね。私達も連帯して平和な沖縄をとりもどしましょう。
- ・沖縄の闘いの歴史をよく知ることができました。いろんな場面がでてくるので変化があり楽しく勉強になる映画でした。とても良かったです。もう一度観たいです。



- ・自然の豊かさ過去の歴史沖縄の人々のあつい思いが象徴的な大綱引きが印象的でした。
 - ・大浦湾のジュゴンとセルラースタジアムの熱気あふれる集会
 - ・「オール沖縄」が結成されて力強い団結の方向が明示されるシーン。沖縄から全国へという希望がわいてきます。
 - ・イデオロギーでなくそこに住む人の切実な思いを感じた。「沖縄は植民地化」「辺野古は安保の最前線」の発言シーン
 - ・少女暴行事件の抗議集会での発言（腹の底から怒り）
 - ・94歳の老人の「戦争に行かせられない」のシーン
 - ・沖縄が米軍にやられている。犠牲の場面。白黒画面での沖縄反基地の闘い。年配の方々が先頭に立って闘っている場面。沖縄の自然の美しい画面。小学校にジェット機が墜落した事故のシーン。若いシールズや母親の発言シーン。
- ジュゴンをもっと長く撮っても（顔など）いいのでは？